

5 社会的発信力の強化と連合運動を支える取り組み

(1) 連合運動を広める効果的な取り組み (連合アクションを含む)

効果的な広報媒体として、Web広告を使った労働相談ホットラインのPRや、最賃改定の周知として金山駅でポスターの一斉掲示を実施した。

街頭宣伝行動では、サブロクの日PRを全地協同一日で実施するとともに、連合本部が全国展開した「連合緊急アクション」では、ラッピングカーを活用した街宣を県内8カ所で行い、春闘の気運醸成に取り組んだ。加えて、男女平等月間・最低賃金・防災PRの街宣を連合愛知と各地協が合同で実施した。

また、各種SNSによるスピーディーな情報発信や活動紹介動画を作成し連合愛知の活動の発信に取り組むとともに、ラジオ番組を制作し、若年層をはじめとする聴取者へPRを行った。



最賃ポスター一斉掲示



ラッピングカーによる
「連合緊急アクション」街宣
(豊橋地協)



地協合同街宣
(三河中地協・男女平等月間)



地協合同街宣
(尾張南地協・防災PR)



ZIP-FMラジオ番組
[ENJOY WORKING!!]

(2) 社会対話の推進

相互理解を深めることや、様々な課題解決に向け、関係団体と社会対話を実施した。



商工会連合会との意見交換会



商工会連合会 新美会長

(3) 労働運動を担う人材育成

① ユニオントレーニングの充実

中小労組の新任役員を対象とし、傾聴・ワークルール・労使交渉術を身につけるため実施した。



② 次世代リーダーの育成

CNG委員会を通じ、SDGsの目標である「貧困をなくそう」について学びを深める活動を進めた。連合愛知が取り組むフードドライブ活動をより広めることを目的に、施設でのボランティア活動を体験し、フードバンクの実態や必要性を掲載したチラシや動画を作成し展開した。あわせて、構成組織の若年層を対象としたユース・フォーラムを開催し、SDGsに関する知識を深めた。



フードバンクでのボランティア活動体験



ユース・フォーラム



(4) 各種団体との連携

① 事業団体との連携

労働者福祉の充実に向けては、執行委員会において福祉事業団体の事業報告を行うなど、情報共有や連携に努めた。

② 安全衛生センター、シニアクラブとの連携

(安全衛生センター)

安全衛生センターからの要請にもとづき、年2回の「安全衛生担当者研修会」や「2023労災防止キャンペーン活動」を構成組織・加盟組合・地協に展開した。労働保険の適正加入と各種手続きに関する年度更新研修会に参画した。

(シニアクラブ)

高齢者が健康で安心して暮らせる社会の実現に向け、愛知県知事や政党県連への要請行動の支援を行った。また、組織拡大の取り組みを進めるため、構成組織における退職者組織の実態調査を行い、活動の支援を行った。

③ 自主福祉活動の推進

愛知県労働組合役員共済会は、定期的な理事会運営のもと、組合の役職員が安心して活動に従事できる制度であることの周知活動および未更新組織に対する加入促進に努めた。